

別記様式6号(第8関係)

戦略作物生産拡大支援事業のうち米粉製造革新技術等開発支援事業(米粉用米生産・利用体制確立モデル事業、米粉製造機器等導入事業)事業評価票

北陸農政局生産部生産振興課

事業名	事業実施主体	事業内容	事業費(円)		
新たな米粉製品の開発	越前町米粉生産利用推進協議会	<p>麵用米粉向けの原料米(高アミロース)を安定的かつ効率的に供給していくために必要な栽培方法の確立に向けた生産実証、当該原料玄米による米粉の利用促進</p> <p>【取組内容の詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高アミロース米の栽培マニュアル化に向けて栽培技術専門家による勉強会、栽培マニュアル作成検討会の開催</li> <li>・製麵米粉の利用促進に取り組むため、米粉製造業者とエンドユーザーとの意見交換を実施</li> <li>・用途別基準に定められたアミロース含有規格をクリアするため、コンタミしないように施設改良を実施</li> </ul>	<p>平成30年度 15,195,965円 (うち国費) 7,646,190円</p>	総合評価	A : 計画以上の成果が見られる
					B : 計画通りの成果が見られる
				総合所見	<p>◎ : 計画通りの成果がみられない</p> <p>当初の麵用米粉から他用途の利用目的となったが、高アミロース米の生産に取り組み、作付面積及び生産数量の目標は達成することができた。 米粉生産数量は、令和2年度は12.9トン、令和3年度は12.5トンと基準年の11.2トンから生産は伸びているものの、令和4年度の米粉製品原料になる令和3年産米粉用米の生産は、豪雨の影響によりいもち病が発生し減収したことから、今後安定供給できる適切な防除等の管理などについて、目標達成のための改善計画の提出を求める。</p>
評価観点ごとの所見					○事業実施期間 平成30年度(平成30年5月10日～平成31年3月31日)
a成果目標が達成されているか					
作付面積、生産数量は成果目標を達成したものの、目標年に供給する前年産の原料米がいもち病の発生により減収したため、米粉生産量は6.8トン(達成率48%)と成果目標の14.1トンを下回り、目標を達成することができなかった。					○成果目標 作付面積:2.5ha 生産数量:17.3トン 米粉生産数量:14.1トン
b計画に即した取組が行われたか					
麵用米粉に適した高アミロース米の品種の生産するため、計画どおりに当該地域型の栽培マニュアル化に向けて、栽培履歴・データの収集、協議会構成員による検討会、栽培技術等の専門家による勉強会、栽培マニュアル作成検討会を開催し、栽培暦を作成するとともに、製麵米粉の利用促進のため、協議会構成員である実需者が行うエンドユーザーとの意見交換を行ったが、想定していたアミロース含量にならなかったため、他の用途での利用となった。					○事業成果 作付面積:4.9ha 生産数量:25.0トン 米粉生産数量:6.8トン
c予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか					
米粉生産に用いる原料米は、品質を安定させるため生産年の翌年に持ち越して使用している。令和3年8月豪雨の影響により、いもち病の発生で大幅に収量が減収したため、原料不足により米粉生産量の目標を下回ったが、適正な事業遂行と予算執行が行われた。					○目標未達成の米粉生産数量は、当初目標の14.1トン を成果目標とする

<記載要領>

- 1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
- 5 事業費は決算額を記入する。